

口臭の種類と原因

口臭には、原因や病気や状態によって多くの種類があり、現代では国際分類がよく用いられます。

国際分類

- I 真性口臭症—社会的容認限度を超える明らかな口臭が認められるもの。
 - a. 生理的口臭・・・起床時、空腹時、運動時、緊張時、疲労時等に誰にでも認められるもの
 - b. 病的口臭・・・原因となる病気（歯周病、舌苔、う蝕、歯石沈着、消化器系疾患、呼吸器系疾患・・・など）
- II 仮性口臭症—話し相手が鼻や口を触る事によって、自分自身に口臭がないのに、あると思ってしまう状態
- III 口臭恐怖症—精神疾患の一種

口臭に含まれる臭い成分は、揮発性硫黄化合物、アンモニア、インドールなど20種類が存在しています。揮発性硫黄化合物は特有の臭いを持っていて、口腔で発生する口臭の主な原因物質です。特に歯周病に関係する細菌は強い揮発性硫黄化合物を持っています。「胃が悪いと口臭が起こる」と考える人がいますが、胃の内容物がそのまま口臭の原因になるというのは誤解です。直接、胃の臭いが口の外に出てくる事はありません。

胃腸の不調やストレスが原因となって腸内に発生したガスが血流に移行し、肺や唾液を経由して吐き出されるものです。

また、慢性胃炎の人では舌に灰白色の舌苔がつくので、これが原因となって臭いを引き起こす可能性があります。

北山歯科クリニック

濱田 恵美

